

令和2年度久慈市社会福祉協議会事業報告

■ 事業の概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多数の参加が見込まれる事業を中止または規模を縮小して開催したほか、人が集まる場所を避ける動きから屋内温水プール等の施設利用者が大きく減少するなど各種事業の推進が難しい1年となりました。

このような中で、感染予防に努めながら各種事業を実施するとともに、生活福祉資金貸付事業（新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付）や生活困窮者自立支援事業、一人親世帯を対象としたフードパントリー事業（食糧無償提供）など新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している方の支援に努めたほか、ふれあいサロンに消毒液等の衛生用品を無償配布するなど、地域での支えあい活動の実施を支援しました。

また、令和2年度は平成27年度に策定した第2期地域福祉活動計画の中間年度にあたり、各種事業の検証・評価を行い、同活動計画の見直し計画を策定しました。

以下、主な事業内容は次のとおりです。

1 会の運営

(1) 理事会3回、評議員会1回、定例監査、出納調査3回、評議員選任・解任委員会1回を開催し、適正な法人運営に努めました。

① 理事会

回	期 日	内 容	出席者
第1回	6月5日	<ul style="list-style-type: none">会長の職務執行状況について令和元年度事業報告の承認について令和元年度資金収支決算の承認について理事候補者の推薦について評議員選任・解任委員の選任について令和2年定時評議員会の開催について	理事5名 監事3名
第2回	12月3日	<ul style="list-style-type: none">会長の職務執行状況、主要行事及び予算執行状況(4月～9月)の報告について令和2年度資金収支補正予算(第1号)について評議員の補充選任にかかる候補者の推薦について第1回評議員選任・解任委員会の招集について	理事4名 監事2名
第3回	3月25日	<ul style="list-style-type: none">事務局規程等の一部改正について令和2年度資金収支補正予算(第2号)について事務処理規程の一部改正について役員等賠償責任保険契約について令和3年度事業計画について令和3年度資金収支予算について	理事6名 監事2名

② 評議員会

回	期 日	内 容	出席者
第1回 (定時)	6月24日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告の承認について 令和元年度資金収支決算の承認について 理事の補充選任について 	評議員9名 理事1名 監事3名

③ 監査・出納調査

監査等	期 日	内 容	出席者
定例監査	5月13日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業及び資金収支決算事項 	監事3名 理事1名
出納調査	8月6日	<ul style="list-style-type: none"> 4月～6月までの資金収支執行状況 	監事3名 理事1名
	11月12日	<ul style="list-style-type: none"> 7月～9月までの資金収支執行状況 	監事3名 理事1名
	2月9日	<ul style="list-style-type: none"> 10月～12月までの資金収支執行状況 	監事3名 理事1名

※ 令和2年度1月～3月までの資金収支の執行状況は令和3年5月13日に定例監査を実施。

④ 評議員選任・解任委員会

回	期 日	内 容	出席者
第1回	12月17日	<ul style="list-style-type: none"> 評議員の補充選任について 	委員3名 理事1名

(2) 執行理事会を開催し、円滑な運営に努めました。(9回)

(3) 行政連絡区長に福祉委員を委嘱し、社協会費の取りまとめや社協だよりの配布などに協力いただいたほか、連携を図りながら福祉活動を推進しました。

(4) 各世帯からの一般会費、福祉施設・団体からの特別会費、民生委員・社協役員からの賛助会費の納入協力を得て、福祉活動財源の確保に努めました。

会費種別	2年度		前年度比較	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般会費	10,229	10,228,100	△4	△4,300
特別会費	64	128,000	±0	△1,000
賛助会費	150	181,000	±0	△1,000

(5) 各種研修会のほとんどがWeb研修となったが、積極的に参加し、役職員の資質向上に努めました。

(6) 社会福祉法人制度改革に伴う経営組織のガバナンス強化、財務規律の強化、事業運営の透明性の向上に努めました。

2 施設の管理運営

- (1) 施設や設備の維持管理のほか、換気や消毒、利用人数調整など新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら貸館を行いました。

また、福祉の村、屋内温水プール及び山形老人福祉センターの指定管理者として、施設及び設備の維持管理のほか、可能な範囲で自主事業を実施しました。

(2) 施設の利用状況

① 総合福祉センター利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
講堂	6,400名	△1,701名
研修室	3,417名	△494名
多目的ルーム	3,654名	△918名
調理実習室	397名	△155名
憩いの間	1,010名	△331名
浴室	528名	△21名
ボランティアルーム	989名	△86名
ティーラウンジ	1,818名	△239名
健康増進コーナー	75名	30名
合 計	18,288名	△3,915名

② 福祉の村、温水プール利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
温水プール	26,696名	△5,549名
茶室	37名	△1,327名
野外ステージ	532名	△22名
野外(イベント・遊具等)	6,321名	△2,479名
合 計	33,586名	△9,377名

※ 温水プールは、4/20～5/8まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館しました。

③ チャレンジランド利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
チャレンジランド	2,372名	△125名
合 計	2,372名	△125名

④ 山形老人福祉センター利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
山形老人福祉センター	4,135名	△2,586名
合 計	4,135名	△2,586名

(3) 指定管理自主事業

① 屋内温水プール

期日等	事業名	内容	参加者数	前年度比較
4月～3月 (延べ415回)	ショートプログラム	・対象者：一般（18歳以上） ・30分間の教室。スイムレッスン、アクアサーキット、楽々ウォーキング、インターバルウォーキング	1,734名	△251名
4月～3月	ファミリー割引 入場券	・対象者：小学生以下1名と 保護者（18才以上） ・通常800円を500円で入場	1,064名 (購入 532名)	△504名
4月～3月	1ヵ月シニア フリーパス券	・対象者：一般（60歳以上） ・金額4,000円 ・購入日を含む30営業日有効	1,107名 (購入80名)	130名

※ 例年3月に開催しているチャンプカップ（水泳記録会）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

③ 山形老人福祉センター

期日	事業名	内容	参加者数	前年度比較
7月16日	やまがたカレッジ保健	感染症と熱中症の予防と対策	21名	△1
8月5日	〃 生活	ハイゼックス炊事体験	18名	—
9月～10月	〃 図工	クラフトテープで巻き巻き コース	75名	△30
11月19日	〃 体育	ボッチャ・スカットボール	21名	△5
12月17日	〃 家庭科①	山形町の伝統食材でアレンジ メニュー	18名	△2
1月8日	〃 国語	昔語り・方言クイズ	19名	△3
2月18日	〃 家庭科②	失敗なし！簡単おつまみ	14名	△6

※ 福祉の村自主事業の「高校生茶道講習会」、「子ども生け花教室」、「子ども茶道教室」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

3 地域福祉事業の推進

(1) 久慈市からの補助を受け、福祉活動専門員1名を配置し、地域福祉事業を推進しました。

(2) 地域での支えあい活動の推進

平成27年度に策定した第2期久慈市地域福祉計画及び社協地域福祉活動計画に基づき、久慈市や町内会等自治組織と連携を図りながら、地域での支えあい活動を推進しました。

また、第2期地域福祉活動計画の中間年度のため、進捗状況の検証や評価を行い、地域活動計画推進委員会を設置し、第2期地域福祉活動計画見直し計画を策定しました。

- ① 支えあい活動情報の提供
- ② ふれあいサロン実施への支援

サロンの立ち上げや実施内容について連絡調整を行ったほか、共同募金等による活動費助成の情報提供と申請手続きを支援しました。

ア 実施に係る費用の一部助成（1月：上限2千円）

年度	サロン数	参加者数 (延べ)	内、ボランティア数 (延べ)	実施回数	実施月数
2年度	90ヶ所	7,539名	1,090名	973回	584月
前年度比較	△4ヶ所	△6,251名	△872名	△258回	△357月

イ 訪問相談対応（20ヶ所「前年度比較4ヶ所」）

ウ 物品（輪投げ等）の貸出（2件「前年度比較△14件」）

エ ボランティア行事用保険の加入助成（22件「前年度比較△10件」）

オ 活動費助成の情報提供

（提供回数3回「前年度比較1件」、申請手続き支援（7件「前年度比較2件」）

カ マスク、消毒液など衛生用品の配布

新型コロナウイルス感染予防のため、家庭で使う予定のない未使用のマスク、アルコールティッシュ、消毒液など寄付を募集し、配布希望のあったふれあいサロン67団体へ無償配布した。【寄付：マスク4,835枚、消毒液5本、アルコールティッシュ31個、その他（寄付金など）】

- ③ 住民支えあいマップづくりの情報提供

（提供回数1回「前年度比較0件」、作成支援0件「前年比較0件」）

- ④ 町内会等による除雪要支援世帯に対する除雪支援活動への助成

高齢や障がい等により自力で除雪をすることが困難な世帯に対して、町内会等の団体が行う除雪支援活動に助成しました。

登録団体：8団体（内、4団体に30,000円助成）

※ 「地域福祉講演会」、「ふれあいサロンの集い（市内全域、地区）」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 広報活動の実施

- ① 社協だより「しあわせSUN」の発行（全戸配布4回）
- ② ホームページによる情報提供（随時更新）
- ③ 声の広報事業の実施

朗読ボランティアによる「声の広報」事業は、広報くじ、議会だより、社協だより等をデジタル録音し、視覚障がい者を対象に毎月2回無料でコンパクトディスクを貸し出しました。（24回発行、利用者延べ168名「実利用者7名」、朗読ボランティア延べ131名「実ボランティア数7名」）

(4) 心配ごと相談所の設置運営

毎週月曜日から金曜日まで、常設相談所を開設し各種相談活動を実施するとともに、相談内容に応じた福祉サービス情報を提供しました。

【分野別相談件数 ※()内は前年度比較件数】

生 計 ※内コロナ	年 金	職業・生業	住 宅	家 族	結 婚	離 婚
492(274) ※319	0(0)	0(0)	0(△8)	0(0)	0(0)	0(0)
健康・衛生	医 療	精神保健	人権・法律	財 産	その他	合 計
0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(△2)	492(264)

※対応日数 244 日

(5) 久慈市社会福祉大会の企画・運営

大会委員会を設置し企画・運営を行い、11月19日に大会を開催し多年にわたり社会福祉の発展に寄与された個人及び団体を表彰しました。(参加者：118名)

表 彰 種 別		人 数 等
久慈市長表彰	民生委員・児童委員	1名
	社会福祉事業功労者	2名
	広く社会に顕彰する者	6名、2団体
久慈市社協会長表彰	社会福祉事業功労者	17名
	ボランティア活動功労者・団体	4団体
	共同募金運動功労者	2名
	褒賞（在宅介護者）	2名

(6) 岩手県社会福祉大会への参加

10月30日、岩手県民会館において開催された、第73回岩手県社会福祉大会の席上で多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々が表彰されました。

表 彰 種 別		人 数 等
岩手県知事表彰	社会福祉団体の役員	1名
	自立更生者	1名
	社会奉仕功労者並びに団体	1名、1団体
岩手県社会福祉大会長表彰	社会福祉事業功労者	9名
	ボランティア活動功労団体	1団体
	褒賞（在宅介護者）	2名

(7) 歳末たすけあい運動の実施（民生児童委員協議会と協働実施）

配分対象者調査を実施し、対象者1人あたり3,500円の義援金を贈りました。

区 分	人 数		金 額
	2年度	前年度比較	
要介護高齢者（65歳以上）	18名	△9名	63,000円
一人暮らし高齢者（75歳以上）	468名	3名	1,638,000円
1級・2級身体障がい児者	125名	△3名	437,500円
知的障がい児者	69名	△3名	241,500円
1級・2級精神障がい者	68名	△2名	238,000円
合 計	748名	△14名	2,618,000円

(8) 障がい者の社会参加及び自立支援への取り組みの推進

久慈地域障害者自立支援協議会運営会議の構成団体として参画し、関係機関と連携しながら久慈地域の障害者支援の充実に向けて取り組みました。(会議出席 5 回)

(9) 介護機器貸し出し事業の実施

在宅の要介護高齢者や障がい者等の日常生活を支援するため、介護用ベッド、車椅子等を無料で貸し出しました。【貸出件数 ※()内は前年度比較件数】

① 本所

介護用ベッド		車椅子		その他(杖等)	貸出延べ件数合計
保有数	貸出延べ件数	保有数	貸出延べ件数		
33(△4)	45 件(△72 件)	57(△17)	110 件(△148 件)	28 件(△65 件)	183 件(△285 件)

② 山形事務所

介護用ベッド		車椅子		その他(杖等)	貸出延べ件数合計
保有数	貸出延べ件数	保有数	貸出延べ件数		
—	—	13(±0)	7 件(△2)	—	7 件(△2)

(10) 久慈市民生児童委員協議会活動の支援

活動費の一部助成のほか、民児協事務局として各種事業を推進するとともに、歳末たすけあい運動や地区定例会など社協と民児協が連携した事業の実施により、民児協活動を支援しました。

(11) 久慈市老人クラブ連合会活動の支援

活動費の一部助成のほか、市老連事務局として各種事業を推進するとともに、社協と市老連が連携した事業の実施により、市老連活動を支援しました。

(12) 福祉団体等の活動支援

活動費の一部助成のほか、活動の助言指導や連絡調整等を行い、各団体の活動を支援しました。

4 地域活動支援センターチャレンジランドの運営

障がいのある人達の生活を支援する施設「チャレンジランド」において、週 3 回「地域活動支援センターチャレンジランド事業」を実施し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めました。(延べ 142 回開催、利用者延べ 1,158 名「実利用者 9 名」)

5 「しあわせ SUN つどいの広場」の運営

久慈市より委託を受けて、楽しみと安全な遊び場を提供し、子育て親子が気軽につどい語り合えるよう各種講習会などのイベントを開催し、親の育児負担の緩和、仲間作りの強化を図りました。

- ① 子育て親子の交流・集いの場の提供 (延べ 303 日開設)
- ② 保育士による相談会「つどいの会」の開催 (8 回、参加者延べ 18 名)
- ③ 情報紙「SUNSUN ひろばだより」の発行 (36 回発行)
- ④ 子育て支援講習「SUNSUN ひろば」の開催 (9 回開催、参加者延べ 70 名)
- ⑤ 絵本の読み聞かせ会「よんで!よんで!!」の開催 (10 回開催、参加者延べ 53 名)
- ⑥ どんぐり工房による喫茶コーナーの設置・運営 (8 回開設、利用者延べ 60 名)

【利用状況】		(人数は一部再掲)
区 分	2年度	前年度比較
親子等利用者	1,306名	△1,103名
一般入場者等	764名	△2,708名
合 計	2,070名	△3,871名

6 ボランティア活動事業の推進

- (1) 地域福祉活動コーディネーターを設置し、関係機関と連携を図りながらボランティア活動や地域福祉活動を推進しました。

(2) ボランティア活動センターの設置運営

ボランティア活動センターを設置し、ボランティア団体やボランティア連絡協議会と連携した事業の推進により、ボランティアの育成支援を図りました。

- ① ボランティア活動センター運営委員会の開催（2回）
 ② ボランティア登録の状況

年度等	登録団体数	登録者数
2年度	39団体	1,799名
前年度比較	1団体	35名

- ③ ボランティア活動の連絡調整
 (延べ154件「前年度比較△76件」、811名「前年度比較△85名」)
 ④ ボランティア活動資材の貸出
 (本所：延べ13件「前年度比較△33件」、山形事務所：延べ2件「前年度比較△6件」)
 ⑤ 活動費助成の情報提供
 (提供回数3回「前年度比較1件」、申請手続きの支援7件「前年度比較2件」)
 ⑥ ボランティア団体実態調査の実施(38団体)
 ⑦ ボランティア保険の加入促進及び保険料の助成
 ボランティア活動センター登録者(希望者)にボランティア活動保険掛金の一部を助成(1人150円)し、保険の加入促進に努めました。(438名に助成)
 ⑧ 地域ボランティア活動助成事業の実施
 社協会費を活用して、地域住民の生活を支援するボランティア活動や子ども達が参加するボランティア活動に助成し活動を支援しました。
 (助成団体3団体、助成総額177,997円)
 ⑨ ボランティア養成講座の開催
 ボランティアの基本や知識の学習を通し、あんしんサポート協力会員の育成とボランティアへの理解を深める教室を開催しました。

期 日	内 容	参加者数
11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「ボランティアの基本・役割、ボランティアの留意点等」 講師 岩手県ボランティア団体連絡協議会 会長 加藤 隆男 氏 ・講義 実際にあんしんサポート協力会員の活動をしてみて 講師 あんしんサポート協力会員 上野 美重子 氏 	42名 (前年度比25名)

- ⑩ 友愛はがき事業の実施
 一人暮らし高齢者(75名)を対象に、月1回ボランティアのハガキによる友愛活動を実施しました。(ボランティア延べ658名)

⑪ 災害ボランティア養成講座の開催

コロナ禍で県外からボランティアを受入れることが難しいことから、有事に備え、地域を支える災害ボランティア養成のため開催しました。

期 日	講 師	内 容
11月1日～ 11月29日 (3回)	NPO法人やませデザイン会議 防災士 大向 昌彦 氏	・参加者延べ69名 ・災害の基礎、地域が助け合うことの重要性、【実技】床板はがし、床下作業体験等

※ 手話入門教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(4) ボランティア連絡協議会活動の支援

活動費の一部助成し、活動を支援しました。

(5) あんしんサポート事業の実施

日常の家事に困っている方や介助が必要な方に対して、有償ボランティアによる家事援助サービスを提供しました。

年度等	利用会員数	協力会員数	利用件数 (延べ)	活動時間 (延べ)	主なサービスの 内容
2年度	197名	23名	557件	992時間	掃除、買い物、通院
前年度比較	5名	△8名	△176件	△289時間	介助、ごみ捨て等

(6) 福祉施設ふれあいサロン実施の支援

福祉施設の持つ機能を活用して実施する福祉施設でのふれあいサロンに、ボランティアを派遣するなど実施を支援しました。

地 区	場 所	回数	派遣ボランティア数	中止回数
門 前	門前保育園	0回	0名	3回
川 貫	川貫保育園	0回	0名	2回
小 袖	小袖保育園	1回	2名	2回

※ 福祉まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

7 福祉教育の推進

保育園、小中高等学校、地域やボランティア団体、社会福祉法人等と連携して、子ども達が主体となるボランティア活動や交流・体験活動の場を提供し、次代を担う子ども達の「福祉のこころ」を育む事業を推進しました。

(1) 福祉作文コンクールの実施

児童・生徒の福祉意識の高揚を図る福祉作文コンクールを実施し、最優秀作4編、優秀作2編、佳作8編の入選者を久慈市社会福祉大会において表彰しました。

区 分	応募数	区 分	応募数
小学校低学年の部	1編	中学校の部	19編
小学校高学年の部	10編	高等学校の部	4編
		合 計	34編

(2) 福祉教育出前講座の実施

小中学生等を対象に、障がい者や高齢者に対する知識と理解を深め、思いやりの心を育む福祉教育出前講座を実施しました。

内 容	実施校数	講 師
キャップハンディ体験（車いす）	小学校 4	社協職員・天神会・琥珀会・事業団・障がい者観光サポーターの会
キャップハンディ体験（アイマスク・白杖）	小学校 4	社協職員・天神会・琥珀会・事業団・慈恵会・障がい者観光サポーターの会
高齢者疑似体験	小学校 2	社協職員・慈恵会・障がい者観光サポーターの会
点字体験	小学校 1	点字サークル会員
手話体験	小学校 2、中学校 1	振興局ろうあ者相談員

(3) キャップハンディ指導者養成講座の実施

福祉教育出前講座の指導技術及びその効果を高めることを目的に実施しました。

期 日	講 師	内 容
7月28日	ユニバーサルサービス (US) 倶楽部 代表 佐藤 裕弥 氏	・参加者 19 名 ・キャップハンディ体験指導者養成講座 (アイマスク・白杖体験)

※ 「鯉のぼりフェスティバル」、「寺子屋合宿」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。(鯉のぼりは、4/24～5/14 まで掲揚し、その期間の来場者は 754 名)

8 貸付事業の実施

岩手県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金事業の委託を受け、所得の不安定な世帯、障がい者世帯の自立支援のため貸付相談や事務手続きを行ったほか、緊急に資金が必要になった世帯に対し、5 万円を限度にたすけあい資金の貸付を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少した世帯に生活資金の貸付を実施する特例貸付の相談窓口として、生活が困窮している方を支援しました。

〔生計に関する相談対応件数:延べ 492 件「前年度比較 274 件」〕
〔特例貸付：緊急小口資金 84 件、総合支援資金 40 件〕

(1) 生活福祉資金相談員の設置

岩手県社会福祉協議会から補助を受け、生活福祉資金相談員を 1 名設置し、迅速な貸付業務に努めました。

(2) 生活福祉資金の貸付状況

資 金 種 別	貸付件数 (件)			2 年度新規貸付金額 (円)
	累計	2 年度新規件数	前年度比較	
総合支援資金 (旧 離職者支援資金、総合支援資金「特例」を含む)	68	40 ※うちコロナ特例 40	40	20,700,000 ※うちコロナ特例 20,700,000
福祉資金 福祉費 (旧 更生資金、障がい者構成資金、生活復興支援資金を含む)	55	1	△2	187,000

福祉資金 緊急小口資金 (緊急小口資金 [特例] を含む)	118	87 ※うちコロナ 特例 84	83	15,580,000 ※うちコロナ特例 15,300,000
教育支援資金	202	7	5	14,531,000
不動産担保型生活資金 [一般]	0	0	±0	0
不動産担保型生活資金 [要保護]	7	0	±0	0
合 計	450	135 ※うちコロナ 特例 124	126	50,998,000 ※うちコロナ特例 36,000,000

(3) たすけあい資金の貸付状況

貸付件数 (件)			2年度新規貸付金額	2年度償還完了件数
累計	2年度 新規件数	前年度 件数比較	80,000 円	1 件
24	2	1		

9 生活困窮者自立相談支援事業（久慈市及び久慈管内町村）の実施

(1) 生活あんしん相談室の設置運営

主任相談支援員 1 名、久慈市相談支援員 1 名、久慈市（町村兼務）家計改善支援員 1 名、町村相談支援員 1 名、就労支援員 1 名を配置し、生活困窮者の相談に応じ必要な情報提供や助言を行うとともに、支援計画を作成し関係機関と連携を図りながら、生活困窮者の自立促進に向けた支援を実施しました。

区 分		2年度	前年度比較
新規相談件数	久慈市	153 件	24 件
	管内町村	95 件	10 件
相談延べ件数	久慈市	1,479 件	61 件
	管内町村	1,533 件	△274 件

(2) 支援調整会議の開催

生活困窮者に適切な支援が提供されるよう、本人と一緒に自立に向けた支援計画を作成し、自立の促進が図れるよう、支援調整会議を実施しました。

区 分		2年度	前年度比較
支援調整会議	久慈市	12 回	2 件
	管内町村	12 回	0 件

10 久慈地域成年後見センター事業の実施

管内 4 市町村から久慈地域成年後見センター事業の委託を受け相談員 2 名を配置し、成年後見制度の普及啓発や相談支援を実施したほか、法人後見を受任するなど権利擁護の推進に努めました。

(1) 久慈地域成年後見センターの設置運営

- ① 運営委員会の開催（2 回）
- ② ネットワーク会議の開催（5 回 参加者延べ 134 名）
- ③ 市民後見人フォローアップ研修の開催（全 2 回、登録者数 26 名、参加者延べ 22 名）

④ 相談支援の実施

区 分		2年度	前年度比較
相談件数	管内全体	252件	43件
	久慈市（再掲）	166件	38件

⑤ 権利擁護実務者研修の開催（2回 参加者延べ39名）

※ 市民セミナーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

11 法人後見事業の実施

(1) 法人後見受任状況

保佐類型1件（受任延べ件数：後見類型7件、保佐類型2件、補助類型1件）

(2) 法人後見審査委員会の開催（2回）

12 日常生活自立支援事業（あんしんねっと）の実施

管内4市町村社協の基幹社協として専門員2名と管内市町村に生活支援員15名を配置し、判断能力に不安のある高齢者や障がいのある方々に対して、日常生活の金銭管理や福祉サービス利用の相談援助などを実施しました。

件 数		2年度	前年度比較
利用契約件数	管内全体	107件	2件
	久慈市（再掲）	70件	±0件
相談件数	管内全体	2,952件	△182件
	久慈市（再掲）	2,141件	△126件

13 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制づくり事業の実施

コミュニティーソーシャルワーカーを2名配置し、関係機関と連携を図りながら、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりの構築に向け、地域ニーズと資源の状況を把握するため、民児協定例会への参加、福祉なんでも相談を開催し地域への訪問活動を実施したほか、ひとり親世帯を対象にフードパントリー事業を実施し生活上の困りごとなど総合的な相談に対応しました。

（民児協定例会延べ45回、出張福祉なんでも相談28件、フードパントリー事業28世帯）

14 受託事業の実施

(1) 久慈市からの受託事業

① 高齢化対策指導員設置事業

高齢化対策指導員を設置し、老人クラブの育成をはじめ、高齢者に対する福祉活動の充実に努めました。

② 敬老会事業

敬老会実施主体との連絡調整や補助金交付等を実施しました。

（市内57ヶ所、敬老会対象者数5,960名）

③ 高齢者生きがいづくり事業

高齢者の生きがいと教養の増進を図るため、次の事業を実施しました。

ア 趣味の作品展示会の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示のみ実施）

期 日	場 所	内 容
2月4～5日	市総合福祉センター	・市内の高齢者31名から158点出品 ・入場者数：延べ115名

イ ねんりん講座の開催

市内全域の高齢者を対象に全体学習を実施しました。

期 日	場 所	内 容	参加者数
7月20日	市総合福祉センター	講演：「昔話・方言クイズ」 講師：今昔亭光草 下館佳光 氏	33名
8月25日	市総合福祉センター	実技：「認知症予防運動」 講師：デイスービス Colore	26名
9月15日	市総合福祉センター	講演：「水害時の避難・家が浸水した時の対応等」 講師：やませデザイン会議 防災士 大向 昌彦 氏	20名
11月27日	市総合福祉センター	講演：「ボランティアの基本・役割、あんしんサポート協力会員について」 講師：岩手県ボランティア団体連絡協議会 会長 加藤 隆男 氏	42名
2月5日	市総合福祉センター	講演「コロナ禍での地域活動」 ～心を密にマスクの下はいつも笑顔で～ 講師：八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 教授 吉田 守実 氏	24名
合 計	計5回	—	145名

※ 「久慈市いきいきシニアスポーツ大会」、「岩手県いきいきシニアスポーツ大会」、「産業まつり老人クラブコーナーへの出品」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(2) 岩手県からの受託事業

① 精神障害者社会適応訓練業務への協力

協力事業所として仕事（清掃等の軽作業）の場を提供するとともに、保健所と連携して在宅精神障がい者の社会参加の促進に努めました。（1名を延べ15日受入）

15 居宅介護支援事業の実施

- (1) 指定居宅介護支援事業所として、適切な介護サービスが提供されるよう、要介護認定を受けた利用者・家族の相談を通して、ケアプラン作成等ケアマネジメントの実施に努めました。

件数	2年度	前年度比較
ケアプラン作成延べ件数	3,426件	△200件
月平均	286件	△16件

- (2) 要介護認定調査事業を受託し、介護支援専門員による訪問調査を実施し、介護保険制度の円滑な運営に努めました。

件数	2年度	前年度比較
要介護認定調査延べ件数	38件	△71件
月平均	3件	△6件

- (3) 久慈市地域包括支援センターから介護予防支援業務を受託し、要支援の認定を受けた利用者の介護予防プランを作成しました。

件数	2年度	前年度比較
介護予防プラン作成延べ件数	161件	△35件
月平均	13件	△3件

16 福祉サービスの苦情解決事業及び第三者委員の設置

社会福祉法に対応した苦情解決の体制整備のため、有識者4名を第三者委員に委嘱するとともに、苦情解決責任者、受付担当者を配置し利用者からの苦情受付窓口を開設しました。

苦情申し立て件数	0件
----------	----

17 福祉基金利息の活用

- (1) 市民や団体等からの寄附を基金に積み立てました。(利息の活用はなし。)

福祉基金総額 253,304,268円

18 共同募金運動の促進

共同募金会やボランティア団体等と連携した事業を実施し、共同募金運動の促進に努めました。

- (1) 赤い羽根チャリティパークゴルフ大会の開催(益金:28,741円)

※ 歳末たすけあい芸能大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

19 その他の事業

(1) 久慈地区広域社協連絡協議会の事務局として、久慈管内社協の連絡調整と事業の推進に努めました。

期 日	事業名	場 所	内 容	参加者
10月6日	広域市町村ネットワーク連絡会議 役職員研修会	久慈市総合福祉センター	・岩手県防災ボランティア活動推進指針の改定内容について ・各機関・団体による災害対応の取組について他	31名
11月1日	久慈市社協共催 ：災害ボランティア養成講座 (全3回)	久慈市総合福祉センター	参加対象 台風19号災害ボラ登録者 NPO やませデザイン会議 大向氏 11/1 第1回 講義、11/15 第2回 実技 11/29 第3回 グループワーク	延べ 69名
11月5日	県社協主催災害ボランティアセンター設置運営に係る研修訓練 (久慈会場)	久慈市総合福祉センター	・訓練①災害VC設置・運営訓練 ・訓練②情報共有会議模試実践(シュミレーション) ・研修訓練の振り返り、課題共有、評価	16名
1月28日	管内市町村長への要望書提出	管内市町村	管内市町村長に要望書を提出し、社協の基盤強化、福祉活動支援等について要望。	10名
2月	久慈地区広域民生児童委員研修会	管内市町村	新型コロナ感染防止のため中止となり、代替策として振興局では民生児童委員のための研修テキスト作成・配布を行う。各市町村民児協では活動の参考図書を購入し全民生委員に配布し研修会開催に代えた対応を行う。	226人

※ チャレンジド結っこ・やませの里連絡協議会への協力は、例年事務局として交流会や講演会の開催に協力しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業が中止となった。